心挺、小銃その他約二萬四千挺、機關各種火砲四百九門、重輕機一千六百

機關

わが方の損害 戦死二千八名

撃墜せる飛行機

四十七機

(內不確實十二

戦を弱かに頻停してゐた。故の意

地上観話に努力を開始し多大の設施さる燃料機製を無用して買りに

質せる作戦として振趣せられつく

これは跡南、河南原作戦が現に

あることを示するので、阿南地路

に見聞城外とある新勝飛行場を占 界漢語が成の思いがあると言う 長沙攻略後除が八日としてガ六日 衡陽陷落目睫

农

脏浦

開始、東部総称、部連さらを設破 行過を防御し得めと映画し飛行場

は衛陽市街に割し包配器攻撃を開 石場攻略の産業は極めて東大であ

心目下酸防衛関地を一阪一場と

た性類陽飛行場占領と同時に河

初は活動によって特と無限のま

海りごれが見い。 の動脈に入

基地としての機能を放失すること 観および大東距極域におけるわが

になるわけで、わが軍による問発

際は突風のわが緩緩の時に同形

の東端三角地帯と連貫した部

て興度殿以東の花地帯は神台三段

を失って読金に弾び上す、一個日空

機能に久しく確つた牙城衛陽飛行

込む内地を残への野留を和子山區

粤漢線以東の敵基地機能喪失

車及鐵道貨車百一輛、自動車二百七十輛、

趱

半島總蹶起 氣魄を顯現

0

整語を盛つたものとではながれば

ちない。

現象であつなどの言しても意文へ

說

数数及び地方機能の稲化を図った 侵のことであるがけに、一人の

知った智顗の教授を中心とそる経 回の理事會において見る初めての

我へ得るのである。然らは如何にを生かし得る唯一の道であるとも

してその道を進むべきか。

物質も説けるが如く。現代職に

る決勝の記憶があるのである。既

へば『大衆生居の以着なる物意配

ころに、単近として然る版本的な る切響、脳鞘を第一脳目とすると

会分子に人を得ざれば、また道義

機械を敗載して臓器を新たらし

林、五、春風、雪田などの名は

が日と浜に増大してあることがわ

ト語行品を開催し公中部を集一

の中間にあって原基地静間の神治「【大陸諸地人工報道班員廿八日記】

桂林に七首

高田であると英と異意殿は田の出

部隊が行場はそれ自身新日空遊

語と、生活部面における和平と

上三大の影響を及ぼし、贈って配

よりする総合のみをはて足れり

四の確立、皇民戦成の撤退、内断

ざること、小路巡黙の説示に俟つ わけても追溯と立時をさるべから

> 威被における國民努力の成果如何 動の規模と時機とに、自ら大か、

にかくつてある」ことはいっまで

際の本態に摂破することであり、

る気の質面の目標として、國民信

る。然も、それは哲と常政者のる陰の君面の目間として、國民官職学を含意言とその保護とで致しらて大東部戦争の宗語を押する

はも地域を持ちどる思路局下

の語言語でして、これの語言語の

然し、この決戦を勝政くための「民の拡大なるに後し、昼期積極行

配ち一回院の本部と基づく道路

北六回 明朝 育を開いて 始夜 も 勝杖 | 各理事から 活液 なる 絵画 の 辰間 さ

る以上、この戦争と対する諸国の 数せしめるための大東正統争であ

めと確認しまければならの報告は

松製は戦じて成力の倍加へ提同け、 て大局に生き合へすれば、遺裂の

題の概念べき道は各等や着るのである。

宏裏一種たらしめてこそ、総方説 ところ、配ち総骸の統理する道と は出來たい。既に經費の遺留する 所能は机上の臓器と終始して、こ

一再としてとうまらないが、それ

を見取して行くとが、

即ち天の我

る理影像の熟意を、その言く下部

衛兵制度の完務を主要項目とく 素増配の限化、決戦生活の数氏、

空軍の前進機點
たる
所陽飛行場を
占領せり、
同飛行場
は既に
わが方に
於て
使用中なり で、河南方面に於ける作戦開始以來の綜合戦果中六月廿日迄に判明せる主要なるもの次の

大公高設長(昭和十五年人目九日十六時)一、湖南方面に作戦中のわが部隊は六月廿六日在支米

灣歌 遺屍俘虜八萬餘

りが方にて 收容せる 死體六萬一千八百六十二

衡陽飛行場占領

小磯總裁

の普遍的限制が命々勝利に對する決定的要素と相談 盆人明白なると共に國民の努力の減泉をる道説精神 るとは密を戻たざる所であって、
・
國家和方職の峻縁 とに自ら大か、速速の差を生むしむるものは、と帰 創まの遊大なるに創し、量電積極行動の規模と時機

把握すべき対象をることを認可さればなりませぬ。

西

透車會第一日昼頭、調示する

会態は等、範囲から商垣駅総藤丘司会官、中井朝鮮軍に務部芸、松水芸、大家領域、野松宮総、縣太務徳に後援、軍田忠県の各部党外

江口図工、小林交通、大野磯路の

る契約あつで削削職機能は改善場が学生生態間を誇り割割の影響は いて田中副意義から約冊分間に見つて國民語力運動の原稿を照明す

マナル年度最大的機能の説明ならびに「十八年的参数観察」「同一要なあり、最後に小校交通局長から所憶報頭を進べ間五時目分標度

以原因を開頭、前加頭所屬は司合官、松本聯盟式

ことを痛感致でのであります

職れは支那部種の凝煌とり数へて環成ことに満し

4将軍武官この他川岸朝鮮雄恩曹田郡長田閣定刻田中閣磯敦、緩い 、 緩入出決党」の報告あい

世界指導の責

戦局は試

示訓縠總磯小

道義實踐の行者た

して極力節目行行自理概念とは

題を高く掛け決敗十九年も時も扱く

が日都管府第一會議話

なる調売を行八半島。千六百周紫朝が周の郷も兼く途を明示、引題 難類は際立の行者となり十九年も成び抜け」と約十分間に置り加入

農鉄販力増弱の一點に消獲し以て大規。

験を招すことの大

一関版立のうちに宮殿意味、欺談を照び世界、小殿主都から「道

順元時から田中川戦闘総次

勝ち抜かり

反版在住の理事をはじめ節

この日全群を調から碧

名を受配するかとの質問に答へ 『今夜文書友場で発表しよう』と

伊國防次官新任

園五名がアンソネの殺害と慰人。 「パンル氏を國院/次官に任命した 輸展がプアンスト書配長カルロ・ 【ベルリン廿八日同盟】ミラノ來

決戰食の强力消化協

ピルツとデアスター

ゼの相乗効果を有す

一四五十四

全国有名類古及びホレチ

エーンストアドあり

∽ケ月置

研説を関するので 様を含めての歌 から平原における概念な関係でなる ある、しかして学島民衆が御翠公

蔵に展開しならればなりません 一時銘の重點中の重點を目指し切得異数なる運動け来れる観客において加上無能膨胀における観 至方、 厚重 の意同も小恒の 一括の維持を保証 随つて本運動 の國民信仰の造船を数すべき派が の展開に先だち上部であるところ 身分を得てから後のその激素族での後接受は国門に入り丘だる た領地間して買ひたいことは丘

消化不良

文 東京·大韓

星製藥株式會社

つあること勿論ではありますが、生産の能率は落ち りまして、中央、地方に買り懲度な 恋す、以上所思のに関し順重職を重 時の空酸により

血壓にご注意・油断すれば

すりなホシー

腦溢血。危險

渡いて「賃息」記げる民心の動脈に限し進力連携指摘上特に問題 意見職取に移り 総治原歴定氏(忠也

様を進めつつあります

凡ゆる可能なる行政手段に親へて指導格跡に強いつ

神意の現は礼に外ならずと続するとき、我々一個國

解説顧物を視め替くの配用物類に訳て前年に協加す資源に成計し能は含る規模機に即随し続、概念既、

る地画の責任を貧極致し、また意識においても日前

自給自尼の國策下に入力の耐へ得べき限りの場で計

念の現はれではなくして唯一つ日本道義の生活各部

即方田要賦用物質の高能率均能の一點に向ってこの て、現下至上の國家的要請をる戰力均弱の物的要素 面における迷院を意聞するに過ぎたいのでありまし

数れる第一日目を終った、第二日は廿日午前五時から獲行する 孟子も大がその人を用ひんとする時は先つ戦戦を戦 七年を孫で東に合後に言る現態集の試練に讃ふこと、ることを銘記すべきであります、各位御承知の如く へて試験を飲みするとを遺憾察してかりますが既往

研鑚、創意の 運

民衆で突込んで 行讨

> 裁總副中田 旨要拶挨

ふ気持ちで心からなる ��的歌歌と

認承の上この上と

からこの監特に

るが勞務者に関しては今後は従

運動の展開につき中央部としては

できるだけ地方に対して無用の指

機構に入り質量の位置に立たない

して自分がその を削削ひする

り批判が先に立ち

絹もすれば不

一名、先は

の一年を負ふべきものであるとい 温動であるといふことを読得し、 最の説動でなく全部お瓦公園の

の不離映階に對しては各々既任

瞬間の運動としては官民一震の

如何なる組織を以て借っても中、今年度の運動は如何なる人間が

に別であるが、さうでない

を展開するとくもに反面事

道聯盟の人々の工夫、研讀、節意

質に大彩に生きるといっ、つまり 我々が今日まで受けた國民として に残へる、所罰級私類公といふか れられるものを展開してゆく

として心で流 小の好く今日の時

一般の欧快とする所であります。

物質機能面提化の基本問題につき制器を弱ぐるに簡 一弦に國民級力朝鮮際盟理事會を開催致し、親力巡一たて守勢

ことと思いますので、これらのあ いて隣盟の段階する運動の便概は、

國を選げて凡ゆる人・秘との高度動力化を観覧すべ、現や國軍を賭したる決戦の最終的技術を目指し、 きるの非常時間これは動物と見る時間して関係個々 の意思内容を一層影響に報告上げ、参加して勝利に

野 本からは脳盟自然の間域につき表 ・ 教のおくてゐるととを一言申上心 ・ 教のおくてゐるととを一言申上心 ・ 教のおくてゐるととを一言申上心 上る力により完全にし國民生活の脳がない部面を國民会領の係

歌であり、同形行場の攻略によう一在安永空野が落大なる物衆を注ぎ一川を繋が化されるは勿論、個林に一近ぎを属住しむるものあり、この して舞踊線以現の建筑、魔水、後一間の敵空軍の出際は一日平均目機 は古らに南方の霊際に渡り一方様 動して匕首を繋する有利な原際と なったが、一個から逃げた被害軍 体からの田路と呼吸してこく吸目 中には199も相管含字れ、質問は わが地上部隊の経、夜間は後方被

刀管の人々にも入つて暫ひ地方聯

して滲るつもりである。

の訓練観察とは時に今日この際の

して悪りたいおへてゐる次第で

禁の中核を形づくり掲載を残

記さる以上戦野

るる、かく粉へ

とめのものであっ つ

におかれては弦楽より

サイ X 飛行場連爆 パンに荒濫奮迅

繁殖三戦艦群にも猛攻

中、一致が所じり火災を生ぜしめ、を與へたが設果は鬼群であった イバン島アスマート飛行場はすで一般の命中郷を興へて大火災を生だ と敵側が使用してあるが、わが航一しめ、るらどわが航突部際は倒方 【中部太平洋花典廿九日間間】サー合らに附近軍器品、集間所にも多一本航空部隊が輸送船間に振躍さ が然在攻略を加へ、これに有效が 面海域の微線差別を結び窓、その 他の一味は廿九日末明殿殿衛門と

な組織に改めることは困難であっては一層の何弥

ž 力が肝要である 特に地方においては具今申上げた

して影物者として嫌いて語ぶ人々

大なる支援と脳心 接その薬を取ってゐない人々の網 **柳昭智事者の至らざるとごろは直** ればならか日は今であると容 強に現はりその他の輕域において

いの移言によ

の意味において中央地方を通じ

3

やうな氣持ちで凱跡を展開して行 むけて行くのではないかと考へる

くつもりであるから各位におかれ

本軍の抵抗はシンピガラベンの市 烈を励めてをり、数はサイベン語 空歌隊がニユーキニヤのピアク島 管局廿八日の宮明によれば日本統 來取一四的太平洋反稱明軍司令部 ビアク島猛爆 諸基地に來襲

上陸部隊を直接に飛鞭するためか

報じた。まつ選供数からの人と窓一を記録って総然を成めてある

敵、損害を認む

サイベン島の日本守嗣部隊の抵

五日夜サイバン語沖に來野、吟漫 第一米太平洋経験司令部は古八日 「ワスポン廿八日間四」は珠然來 図の報道機関は量を揃へてサイバ

「リスポン廿八日同盟」廿八日米 間における日本版の抵抗強化を

抵抗更に强化 鬱

行ひをしてくれるもの人多数ある 概念に敬せしむるといふ考への と客へてゐる

へないところで

產陣也 日米 6 戦 1







おりて子子子の総合効果に依り懸効で動の受質点がルモンと、定許ある 十四五十餘、 使用分三四五十餘、 使用分二四五十餘、 十日分六

所究例

學化理原形的

金剛有名類店百貨店に有品切の間は負責元へ

體ヤギクラミ

競生を促しその 競生を促しその

小巴蒙兹困難以村張奇樂店 京



発性れ、その勢を指は世にれた 門し特に接見を解び、異くも超手

神経の国状態の上に相及有難

金属語の場で、西京日下一行は一水テルに引張けた

本テルに引傷けた

その他は他的問題に関する関係機

に學童を動員

野は今たほ脱松する模様がなくむ。は儒然強性したければならない

我を挾撃の野望

落川、南雄、御駒、響殿、丹竹

在支米空軍の現状

買入價格 ▲四十二市

魔のうちとむしろ從死にも強して 日攻撃の野盛を放集さず狼狽と無 があるが、しかもなほ米空車は対 全量の動揺はやうやく雑烈なもの

れる、現に衝陽高地の失略によっ

ないにしても大陸和平地區に對す よしんば、日本本土までは、親ひ得 に関する結果にならぬこも吹らず

會士

(10世) (10世) (10世) (10世) Ξ

から實施する、新国領は、間のこ

ので、そのうちの形なるものは上 概を含めて一四・五%となったも

需要などもjuly子版格が安まと

| 富丽館は廿八日子町中におけるチ

リー東方ならびに西方の戦権戦に 【ベルリン廿八日同盟】ドイツ軍

要激場の発皮は従來膨胀業績の場

家の副産物に替代用として舗 白六十四圓 黑十三圓四〇

企圖は水泡

「ベルソン廿八日同盟」穆統大本

ない、ペレジナ河東方においてなしたことを献味するわけでは

眞綿も値上

るべく機構的で工情での他や参照

桑皮も新公價

変けたる生然 <u>電位一〇世)</u>

實施割合は二

四近%

小質懸落の最高い質問格に次の通 傾角直線 二一四四二〇▲別角同

は智然域が化すべきことが領想さ

しかしてかかる解釈を打角し機器

といふ致命的影響を米空軍に収っる。これの教命を開びしつ動は著しく阻害されるに至った。しろ翻えるの影響を開びしつ

歴方面へ、一は宜賀、三は厳

現在大陸に放在する政航会兵力

生絲,賣買價格値上

し、生産温度符においてニッツル、品種も六種から四種に対制であったのが三段時に前期化さ

の特殊事情に基づいてゐるが、

小質関格一西・一叉の順上げとし、生産岩関格において二三%

を探回せんとする阪宮屋の足扱者

関記上この基明職を三分して贈酬 などの前進末地へ著られてゐる地からざらに桂林、領陽、淺川田明へと突輸ざれごれらの根郷 敵焦慮の盲爆を

半島も儼に警戒

的な劉日間反攻の一環として配情 りゲリラ酸的性格を一郷して本格に米第十四航空駅として新手に代 年後上頃から意識院を止めて正式 度として経々兵力を在客込み十七

らは主として重要、成都の防空を

機器してなりP切がその大部分を

古のてある。本を昆明知路には大一大陽性能型は空間により、夕知上一會で成立した勝い突然変活と突撃し続置してなり、中値がその大部分をこの大陽般に張旭澤に奏してわが「紫の唇子は暗年の落八十一道常識」

作戦をとつて活際に動き出した、

正式決定の運びとなった、同法令 を整理中で來月早々の協議に附職 世景笠原事所官が中央制係方面と

折例中のところ略終了、目下條文

欧正については完設來秘憶官開文

日棄的攻撃を促進か

行場を占領されると語うたとは

軍作戦の池排するところ在支米空 行場を完全に占領した、わび派遣の略の合動航空活用群の略領場所 (原質・) できてまずにが動い相談 | 支那に日禄宮に出場けて死次こと | 限度・ | 収度・ | 収度 題の議断は暖がど封ざられつくあ くが如く次々に在支米空間基地を

が、その後来は第日反驳作成の一・PhPRPよなどの威嚇機会的でいかなかった。から、このうち権威或解析手にはが、その後来は第日反対権権ののでしかなかった。

を初めBiが放機内外のると見ら

上げとはり廿九日雪宗したが、今 生器の値上げに任ひ各種直親も値

十三百四十號、同白皮四十五四

至三十キロの地域で傲戦が喪罪

戦機に注言込み、カーンよりバ

の地略は戦闘特に急列を極め英

従来十貫九國であつた機器皮を

斯坦元贾、卸墅、

次版下の半層に負荷された傾命

般的凝算と物質である

いてはかくる頻點から耐場に於、主、際民が一環となり始極意欲

い、昨今間が見らず相当をいし を送行してある、人力を転して

殿鞭増帝の基盤たる目指肥料の確一

、成目標音六十個間のうち期間中三百五十四、全駐の適勢地肥弱

に百廿酸粒を確保せんとするも

、堆肥の増産 全鮮に國民運動展く

役務の高度利用を明するため

てあるが私が近い内に必ず終前 に裏芸れるものと信じてゐる、

脱瘍の一分野である。、本道におした所は鬼に大きい、指導者、地して本年時に於る土地改良群線

信ぎる、勿論での企園は難に

が本國では必要り金になり下食っ 後衛時次國の撤送い形行機機構者るが、在支米や軍は支刑事機制強

歌幅の漫画五十分半宮を沙下した 満洲國政府首腦と ビルマ調査関懇談

「新京竹九日回盟」にルマ國閥森

五九日子の子時廿分帝等に漁風、 各部大臣より所修事項に関する既 大十九日後一時十分から記書 とおいて潮州國政府首隔者との

帝陛下 ピルマ調査園 行に接見

で特別関連別へ・ハン別長以下の 【新貢廿九日同盟】來濁中のビル

成力増削の基底さなす食料の増

は各部門に真って何めて多いが 中の急遽であ 戦力の根抵この大原

がおいる。 学院を明けて観客の手上から、砂る民を更が戦撃開発と氏い吹、**協路の打開**・財産情報を終さめたは一人機会でありな。側にした。不れなどで指導者で、宣士が利害日本の場合というできない。 に埋ぐ所が ない。私 ける醍醐師の如く殿村緑崎間を「が田盛となってそこに初めて鰤、天命を持つとは町なる顔ではな 創意工夫で實踐

機能とする幽暗地域にあること 色が成力戦して一歩進んで全時 ある、協力で成件も対会日では、小本部としては単生の動動を他、医の動物と氏心の言語を完成、第二夫なな聞して行くある。協力生態の生態間であることは分談で、少年からして不在単語の最も多一人の観光しるで、世景を含じ 選りを認えているがある。 依に曲を切破へる必要があるかには水利、肥利勢力といった風・ **賃任**棚が飲船せられて以來点城。 ある米を作る稲田は水利と不可 らである、本年初めて墜着生産・に爆略が多い國民の主要を構で を中心として不在地毛の最も多 分の関係にある。 増売取役と歴

は関して使つべきものがあらう に要作を初めくする田作の増減

り十月まで電施展開することに

はか中等校、國民思教院は、非隣

次の人々も動員する計事で、各主

ール地に侵入せんとする

部落を政施軍位とし部落では老若

れが貨施に借っては金融の脳村

然廿日公安

・廿七日夜郷空軍の併爆時網隊は

を攻撃、特殊上陸用船舶一歩は

ロシア攻略に依然無いこれけられ

えれいくられて、大きい激を強

くのだ▲その張本人は、所聞イン、 不健全なおしゃべりが、つい希腊 の流営監路は極の線路による場合

「ベルツン廿八日同盟」赤軍の白

獨守備隊奮迅

もめるが、一人の不注意な、求た

【ベルリン廿八日間盟】渤統大本

中部で激闘

敵驅艦快速艇遁走

営はサ八日郷軍は東省航線中部地営はサハ日郷軍は東省航線中部地営

利用希望の質公

爾(派於) 書

間に登集して 変が、 のは、 である。 利 のは、 である。 利

を置い 『〇〇郎

ピテブスク撤收

島のビデンスクを撤収した官種表

のである

日の廿一日は各国間一層に部落

現、四面でに待ら概へた部接線 へと概念の手管は一分の狂ひもをり延長からさらに一般報題家 る家庭への側面円が動は勿論のこ と三年立以上の記には各自一戦つ

本 2000年1月1日に10個と日前指揮の大の部間に2000年1月3年1日本人の 1000年1日本人の 1

未動有の時作を示してある 戦すべきでその心具は何めて良好の全代数につき質問したことな時

・海とその補立枚数を四月示范に即ち称では八ケ岳国に同る飼育

「本北唐川にて渡」と田桐皆町のため部跡は路川内総一作安定のための共同依害を形物密 共同催青全郡に實施

つの傾背をなさしめこれがために

場不在であったが、 殊に曹嵩都守一時の好成制を集げた和として、 本

当前的任技手を沿撃し勝者が加なである。 先才同月十七日各

いる推薦期の天候不可いる相関のて関係多く見つて

はうまなも何かである。中でも

東路路が、田林道路路長さら

別であるが一郎年も昨年も簡単の外であるが一郎年も時年も同様に対し

八枚上世記

や、子供道に仮心するので、全く と我に、この種の無物は人々に対 から流音報酬の取締が肝寒である

● 原理 ~ 小 娘・皮膚科 国道献文) 養活動画で、用介 スクシミガ の可認用合葉に戸か 元治数

供出器動については大阪道内各部 西城、地形以下巡路。 面景、暗 が特に都では単位的員方既に基書

権物と決議制度であ、半対制資して第二次と共正的、一枚で四百以上供出 法には十級、一枚で四百以上供出 法には十級、一枚で四百以上供出

の指導語彙と相俟つて相合に依生態が任制への民心理解は意局

た哲能間型傾削射一區の如き、底してゐる、特に記者の時間し

それが機関指導部落と指定

国第二百四乙姓子、増肥は反當してある

以で増肥と改善の機関的増高を期

紙航空配者の廿六日の韓道によれ 【リスポン廿八日同盟】タイムス

進してならないものに、所謂オモ

値渡る◆ことにもう一つ見

獨空軍に二新鋭機

質が、ミンスク地路を狙つてゐ

盤といる機能なる現世に何ひ込 れる場合が多い。それは正しく

物一匹。四枚以上达一匹、 空気班上政府二枚以上を接立て 後せしめんとする意間が背取され 細規模から本格的な饕餮が盛と朝 関格域のハロー100%のとき

以上の如意を表方法についてみて

均一質の供出しかなかったものを自然用機系の存在と共に一枚哲學

資指導も採出資제も困じて従来は

も和貧品が城地振興のためには零

見るる样大きく見事なものである

書と皇一夜万至四枚を剛奇しい

てあるために、一たびの成態報

外大きい他言を持つから、非大で

は関係を極めるといふのだ人さう

獨空軍、東部に活躍

わが猛爆下の衡陽飛行場(設論)(下)在支米空軍が使用した落下傘等指導監督(引着選供) 門百七十歳内外で区間後爆踏機が 概とB4、B1の虚路機が兵力 公P38、P40、P41人多数の歌

作版により

て関係方面と折断中であるが、水

勝意、天津各地に出張中だった石

田朝鮮石炭社長はこの帰腐域、つ

來、新京、北京、陽家口、大同、

穏はP38、P40、P10などを節しておりた成場機が入り込み厳ロしておりない。 でありたのは機械が入り込み厳ロしていません。 は本、総川方面には約日七十機 理とし強勁を置けようとも しつく今、簡潔器行場を占領したのだ 道立醫院擴充 制を改正

野院の確元を行ふため、 目下これ! 近く地方官々 三、酸倍受は動任三人『平興、大四、咸陽』が定員となつてゐる。 る、改正の内容は次の通り 一、選立経院一ケ所を鋳設して全 營官 『養任官』 経算 『列任

所令は、然極止されて、これに代 などであるが、かくて自由三心総

微行されることくなった

對策をなるに至うた、これに封保に成功し輸送についても具質

統制窒ជ、主なる出族業者を始めたが今回めらためて各政府、

佐來から非常に協力して**買**つて 大族への依存度は最敬に高空う

協力するため機械、机木その仲

一競等の新時代と選する態成容が

へてゐるが、P切は逐次P切に

朝鮮商工經濟會令改正 必要量確保製鐵用炭の

してあるが、後者との主なる相気 後塔が各時隔極器層を綜合す 北に大陸連絡療法に出席した不野 整調用炭暗除のため鮮潮交易音楽 金融、四級を中心とする 木野燃料課長談

後に剥する後存は船階的に草型 の輸入炭酸銀折価のため本月沙町 産業の関ガな指導に伴ひ、北要 を占める網洲、北東軍に影響より 本年度の解内石炭病給上質大比質 問題は輸送 石田朝縣石炭吡長缺

號猛威振 既に三百時間效果愈々顯著 3

碳でメッサーシュミットMEIO

は、現在脚空間はノルマンデー

所は常に對フインランド國交際領

致した自殺器した結果、米國政

ては専用海上輸送を行ひだいと

「リスポン廿八日同盟」ワシ

芬米、國交斷絕

〇の最新鋭麗闘機を使用してある

九岩よびフォッケウルファヤニ九

整衙、航空機、船舶建造

機能する個性、

オルンド、ビテブスクの 奇松 早朝 ゴメリ西方のカリンコウイ、は守七日次の通り宮明 一、 奥空軍長組織機能様は十七日 「こんリンさ八日同盟」 繁華語 については 八日つぎの通り宮明 オルシャ、ビテブ スクの 摘収

歌から言って、 歌地語でも入機を整度した 歌地語でも入機を整度した に影響車部像を攻略、影勝車地

マノカ和工新版のでは、 が動くなく、神目は関治などする 一般人類は親月後を期待する同志

來的一些國駐田米里航空隊司令廿

企業の一般の関係の「なの要素

厳空軍大陸に出撃

といばれる ν ナで激戦

獨、血路を開いて主力軍と接觸 ンチを辞酌、多版の輸送別題に

でしらこれを通 されるもので選

これは全監初の試みである

資質を試験調査のため潜水器五基 の試験許可を申請中のところ の海藻介域の生質分布狀態とその 温温業組合留では本道沿岸深海底 潜水器を使用・四・窓 本府水産票の原解で本治知解が (抗日)

は時間の問題だと称してあるとい 緊急郵便 七月十六日 取扱を開始

配図の取扱いが開始される、これ **海藻介調査に**

映画した。で行場・工場などを でかばならないが、手腕は七月 日から各の傾局で取扱ふ、敗級

い、原願として整層話奏の承認をとに活躍室の登音話を利用してもよ も東京大阪僧ならは東京総十一時も東京大阪僧ならは東京総十一時 の嚴潔を行つた上で決定し議会師 敗投帯は次の各層に限られてゐ

室殿闘機はこれを変し、甘七機を よび港牌地帯に攻職を加へたが顕 なる赤重飛行機は廿七日午後ノル 同盟」オスロー來館=六十機とり

ですか?

と交融した反循細度飛行士の管 廿七機を屠るン芸日 によれば新型機は北深辺機より 極メツサシコミットME一 ノルウエーで 天豹藥 んな病の方へ 一般を必要としている。 一般を必要としている。 一般を必要としている。 を必要としている。 を必要としている。 できないる自然の方へ。 はないる自然の方へ。 はないると、 はないと、 はなと、 はないと、 はなと、 はないと、 はなと、 はなと、 はなと、 はなと、 はなと、 はなと、 はなと、

とになるのですよった一人の不指末がとんでも 社會式株氣電城京 盟聯鮮朝力總民國

歐せられる東久運営侵墜王殿下の一東京協等無線株式宮社の協力を得一 の中には是くも一題能として政一級被工場をはじめたのは四月の家料四級年生の風校工場限款、かず、恩智院が各県核に先んして | 夕飯組む自自影響院中 | 先に全身全界の力を積めて観を助 形だくになって観作第一 ハンの気まで傾けと

愛國班の 歌響班の生徒 たらば歌々として指 ただけでも汗が得み出る、しかし一様をつけたが、管例は設備の関係 かす、異智院が各風物に先んじて 敵削總常會 その開放祭で機械についての跳竜 四時まで監督してある時はご説は 上一流に分け甲班が午後一時から の院内工場を開始、動勢動員に先

「動と認義」と、生態。 宇 五百島紫原珠貨の歌力を直送歌力検報の 東東の南人に佐必郷の遠紀。 園舎没恵が建せてるる「間難した、生態」 宇 五百島紫原珠貨の歌力を直送歌力検報の 東東の南人に佐必郷の遠紀。 園舎没恵が建せてるる

聖も震ふ戦意

總裁も手を耳に聽取

らしめんとする現代が売ち渡りがありくくとみえるのだった。

時には耳の後に手を置けること

ればよい、まつ図民新師の出頭と

山田忠次氏(景城・朝

大量 を中心 大量 を中心

年に一度の影響である國民総力原盟『第六回理事會』は廿九

事物である、 ★ くの態味を強化する理・

際と今年は攻勢

得る世間民間即に進ませるのが に関恩の軍大無渕なることを贈する習慣をつけ不知不識のうち

教質大直氏 (京版·朝鮮神

電器放送には併めて指触技が母 ・近著も効性配置申し上げてあた、 を聴くといかやうに一部制である てて居られ、その御黙心さどは側 長の笛に合せて四角な際に観を書 るが、この日もシャツも御脱ぎに てて居られ、その御黙心さとは側 れ流れる汗を拭かずに伊勢工作課 氏が強物に灰るなど、風智院の

るが、兵器の製作に発手するこ 今に取ら茶機訓練に用助をおいて とも古して違いことではなく、米 取録してあるのだ

をあらゆる方法を聴し背及をげ

は戦局に個へ所開班身を整つた 脱級す言る格みがあるから、

のである

る) 仕奉納師の把握教践は未だ ٥

社長、市役、富奖主が見回動勢間 生産の新港を 生産の新港を 上で立つ生産 上で立つ生産

仕奉運動温化に就て 中村繁夫氏(genous 動義後の目的だといへる。 の頭を切り替へることが仕

から、教育機関を動員するは、 である 概んで協力するやう経過すべき 層道な年活環境を開成させ、以 ではじめ映理、演劇、音楽など

の機関平第一種から退かしめる

船員も職業能力を申告

意幔者は總動員法に抵觸

勝抜く爲に一億舉って

神川氏 へお荷物は 第7条単でおき素が明 第7条単でおき素が明 第7条単で関係式を せた日東中で関係式を

9

然に年を組造しないもの(へ)

徴兵制趣旨の徹底

ためには

態でも七月一日を押して國家活動

酸(交通局海貨裝成所、仁川及

小口の保険

塗料販管・塗装請員 電本②一いれた番

一口参百円均一

板谷生命

大切に使ひませう・健康美肌源素

アン離り

モピアン洗顔クリーム モピアン 粉 白 粉

非常の際は非常の に徹してゐない、地位に甘

から隠へられた切實な関系であ

▲申告先 居住的を愛護する場別いるの

宮を架す(用紙は任 に軽調に機更があれ

生活に即した消費を必要とするのる程度のものであれば平和時

Comme

の魔止の公骸後三年を終過しな 年を經過しないもの及該期間内

を修了したる。当にして修了後三 機線酸信體製所第一部)の無程調管頭液積極成所・朝鮮環像府 不測音組海紅菱成所、海豚製図

渡邊里子氏(京版本

いつまでも酸吐、事業場の採算

部と記録して内部のでは、

今回内地で派遣されて半島弘兵職の啓頼が終済である。これは

▲申告報務者・申告報務者は陸上は次の選び 告しなければならない、申告様式

であることである。しかし日本

戦力を實生活に

と言は左の通りである 機管時期に質問から登記した河、この一体際なける場合や限したが、この一 江口鑛工局長

日は、活凝なる質見の開陳で旺

あるが、十基、前山に動くよと、地へない、一方・中神の影音地響を聴じてゐる。次に動務的題で、一方・中神の影音地響を整造用するなど無象の非常指数、影響期を京展したことは領国感に

されるが、順間な失例に選集れて

的に感聞確立するつもりであ

るが、今年の憲兵に

銓衡

監督は極めて国际で平年作り下の

大野學務局長

軍武官

かである 居は歯初の強烈を

地を示した、この大型輸送は朝鮮

、われくは輸送の協略のため生態道でかってなかったことである

増産は確認である。從つて財前職

一一つれが絵刻密材を近點的へ

雑穀の開南な入荷と相俟つて無路

軍關係、局長らの演述要旨

流に比し答うてみないことは異

今年のから、 を記述した歌

待

遇

子勤勞挺身隊員及寮母募集

他の水廠物は何れも五年前の魚

資成に努めてゐる

小林交通局長

書

びつたりあてはまる運動が必要で 力にどう影響するかで我へ腕場に 製は郷下の監局とみて重要的に戦

資期出 格間先

融は不振状態にあるが、風空除

場でる質問

ちた事理るす笑談にかや和・中憩休

の完全産成を

いが、運じこれが作出に担重をかいが、運じこれが作出と不安にな

税取扱在物省

题 夏

イン園で日夜の

機に入った敵をは中央決職を 大東亜酸節も

に
育つて
あるが、
この
輸送を
完 四月からば決勝、輸会掲載を耐行 力とある。

芸質肌みどろになって努味せないといふことのな

一原産 原産 原産 原産 原 大利

けるため来版と共に供出る時間を

低施し副民の増盛蘇欲を振起高揚

生南西任制を電施し、これ

四、五、六月における第一四半期 鐵鍋をはじめ向れも豫定項の突破 が生産目標の必期に週進した結果

整局の進展につれ資材、勞務注

一部、 第日、 図、 数日の四中路も開

経んの二、三分の音でで 見織出で登世指名以外の理解から全駐家族構築育住思して活躍な話

る際心な雰晩気に関場は和やかな

うちにも決敗常質を取打ちするは

嚴かに創始

行と、情報、監監と祭典に進め

はない、決盟生活に生き扱き頭

國民信仰啓發に就て

本職を明像ならしむるよび即ちに東大なるものである、関門のに要用機関下にあっては特

心を養ひ體を練

n

一、皇民錬成の徹底

西民族共衆の大鱗を完録せ

に基く仕事権制を書く時間に撤の増産出出に國民の権力を結場

数せしの進んで関係の現間

関を不扱に確立するとが使うを制々配制にし一倍一

例注せんとするものである例には活の確立に全の標

根本的切替を行び帰令なる単同

元には國家の契嗣する財政物育の動物である。必翰生命力の樹

る剛健なる心身を練習し機光一

賀田直治氏 (京院大順

時批補始の様き限召と浜館下に七

記念祭教行

「順路中土は関年配答日を迎へ

たる人々で男女

の飲命、男女の別なく難へに観 なべつた國民的情報である 班くも

町村で取ってある、山馬原岡が

市に統例以來職業の高下、身分

あることがど、韓國哺乱に割す が成の含はみである、方気の飲 る皇室の御祭説はたべく際僧 光は永禄に押き、駒功禹古に戦

松山、畑の三元郎、海軍の氷野

るる、原知の道り程後の寺内、

れるは間に強くなが、整面

として相談、打制け花火が行は

切付けられて、來たが、近年はず

祭や所年祭がある、祭肌の窓朋

種の祭がある。また臨時路祭と

なか大概なことであつたとい もる関連としめられるなどなか

> 會 H

場一三越三階·四階情場 時—七月一日—十六日

大南

洋建設

展覽

曾

塞第

部 大東市戦争と共気を建設

風景、遊物の旅都を知ることの出失・フイザビン・印度・海南局・東印度

大成職で 一次 古間

皇族殿下

は身分の上下も

で、関領領

ま、 原間のやしろだいつくがごみ ま、 たて ロー・マド・・・

がある、先づ合和祭であるが、明成神社の祭典には合和祭の扇原神社の祭典には合和祭の

問題、登

機関人、無限を

町人からり

國のためだふれし人を借むに

一日本で最初の銅像大村益次郎

そのほか 合肥祭は 原大祭日に 大路が 相互と 圧命されてゐる

もつとも今日では、政上のにな 時からはじめられたものである 整線は第七回の明治十年一月の いかが、いいなどもかはり、中

原を祀いその道風を順か

る豊田側武大將を初め開海軍の してアメリカ監察を軽損してゐ

し皇室の御殊遇

有栖川宮、小松宮が御發起

及今日で公生二回回月と十月 る、郷大祭は大正光年士一月

護の郷

かにおける

で贈ざれて、解釋の歌族的が英

心を軽れさせ給うてあるのであ

でその時の表質長には常時階軍 形けられるやうになったのは第

に感どが出る

勇戰奮闘

にひたすら質問することこそ

民島校生徒一門は畑の除草、田

国防献金 【四日】 本品

見萬國防献金 紫紅紅

本社寄託献金

Ē

催

南京

城 4

洋

體

聯

a

會社

級熊金と職子の動気の小量を配

模状等に出動そのお風に作っ

內

は

者務實航運會營運舶船

1 教習線で

間の心をもつて心とし巨民 を置び、英麗が神となられ 神社である。表合は経緯の温泉

機後に財職施設として遊就値

田解の川上録六が任せられ、大・年海郷別旋大棚底式の日にはつ

祭が物所や各種の高さら記述が

てある、そのほか恒例の暗

「左二種クル細れング大祭ト 社で 神社祭祀令の 生 深に 合紀祭の

でなく別族の上に表ったい大師

との御観が採する、英様のみ 思いはおやのこくろなりくり

数上のなるのの

下と歴代しばく行いるとなら

明治天學 大正天皇 今上陛

品は話している。

串を腐敗して式を終り、関十時半

の東田民族を良郷所被する際に は至高茫純の同民精神より生ま

仕して振武打球燃納確利の頻樂を から建設において宮内省勢部員報 米英を散滅せんとの説詞を奏上宝

ならぬ、顕鮮にはよどに地方部「既力増贈の一點に起源しる大便」「御神で起しまする時の壁で緩を切って暗珠れば「立し」平大昌郎問題の郷力を収透し、神の子として神ので、緩をりませる。

神の子として神の國に生れ現事神の子として神の國に生れ現事

的訓練を徹底せしめんと子るも四、

関脳的米質文化を「対し文化の四、皇道文化の作興・・

一五、仕秦増産の强化

出版政策の太陽は、天皇親軍の七、後兵制度の完遂

ア、氏に個人器以縁國の祖師を

であるが、これらの歌を伴ぶとはいるまでも

とするものである

ることが必要である、手つ取り早 これと刺しては肚を握るて対魔す

的な疑惑が必要を

り製威民としての街域の陶冶

紀、道教の昭和、國民

確固でる域民信仰を推立するこ

関係の木筏に払うく道義朝鮮を確 運動基本方針、 靖國神社

五周年を迎へ、われら一個関係

競技した

して破神尊島の大義に併せしる性値の大治を最初して破臣民を性値の大治を最初して破臣民を

少年の領成に力點を耐くと共に

において簡単同次長より左の如く

運動主要目標

4年度運動一匹戦争の記跡を期す

本年總力運動の要綱

もみえ、水池三軍を配配した際 場せつけな川岸線品商選事長の 語になどはなく果み 親りをする、次いで各道理事が

個人と押しかけ定然には全体貿易 間の四島知吉理派が白郊殿に一 りるき敗北の四元為公太理事と

父母に軍隊知識

徴兵制に渡邊氏要望

民心、下院を一部一五時過多極重した

民化や推測する納織で総合し午後かくして第一日目は宇宙民衆の島

統拠常質は確かれたが、これ

鹽田農商局長

が対している。 が対している。 が対している。 に描きするものと強使する。 を進めているので、性は圧縮。 のでは、 を進めているので、性は圧縮。 のでは、 ので の特別配給についても潜水地崩

田中時計の修理は 原計の修理は すべく目下脈系を局が中央と折衝 た注級機制と併行して必然物養

度も強烈以上の歌風をみてあるの

な野州を行うたが、朝鮮は樹野地では大學、裏門風徳に敬いては内 政を聴けて哲能することが出来ると思ふ で能勢の管底施も漢元以上の好成 らみて能器の門を殴くする終縮





发送 图

類受滌與有終愈失雨支部長枝原百 話】丘腹鹽氣壯期長旋轉戶市覆壯 話】丘腹鹽氣壯期長旋轉戶市覆壯 年後十時十五分死去、事年八十四 枝原海軍中將

理論での見りを3

期离井縣

公。 D_A

曾替與政大 定期 (関件) 翼のヤジ

・ 本一・三 ○政策所 の時間 ・ 一・三 ○政策所 の時間 ・ 一・三 ○政策所 の時間 ・ 一・三 ○政策所 の時間 野菜の作り方(君・田芋・での他)野菜の作り方(君・田芋・での他)の味噌を願い二次、重要の財産の時間、 生生の時間」 資票 第一朝 七・〇〇六版 水虫 が果を破壊する を有し内服後數 と有し内服後數 も疾化農性 强力 所都製村竹 (1842年18年)

◆七、四〇放送脚、サバルワル氏 6

御 挨 拶

各 앲 樣

お願り『防空第二種』本日休報 20所限以刊 初步國 本 日 船汽海 六三寬明臺北港灣 兼 移 選 許 局 山海 111

を表示しています。 のでは、 のでは、

宗城治中國門治町二丁宮十春期 小林 百年 自 助 垣 株 式 會

京城支部指定,京城如汝檢答

衛毒血液検査。寄生氏検査、暗療検査 関連の機会は無い表別を 関連の機会は出来

○入事者には全部使内耳逆の申一章をよる者で売上ます 「何」巡信を次行(原因)、中京島川資庫 「何」巡信を次行(原因)、中京島川資庫

右 四、勤

禁物田子の日全体が はなりに対する。 本持令の はなりの はなりの はなりの はなりの ながりに対する。 で生娘主 ではなり、 で生娘主 できない。 ではなり、 で生ぬ主 できない。 でもない。 でもない。 できない。 できない。 できない。 でもな、 できない。 できない。

Ç,

石東洋電線株式會社 高額管部を開発します。 高額管部を開発しませる所 高額管部を開発しませる所 高額管部を開発しませる所 高額管部を開発しませる所 高額管部を開発しませる所 高額管部を開発しませる所 のののである。

三、待

二、 斯泰 在 學問題 亦主傳經 一、 斯 務 先 學問題 亦主傳經 一、 斯 務 先 學問題 亦主傳經 一、 斯 務 先 學問題 亦主傳經

沙漠